

国名(日本語)	クウェート国
国名(英語)	State of Kuwait



国名の由来	城塞都市を意味するアラビア語の「アル・クワイト(閉じ込め、囲い込み)」が、欧米化したもの。古くから遊牧民が生活する土地だったが、16世紀にポルトガル人が商港を建設、遊牧民の襲撃に備えて港を土塀で囲み城塞都市としたのが起源。1899年イギリスの保護領となり、1961年に独立した。
国旗の由来	他のアラブ諸国と同様、「アラブの色」の緑・白・赤・黒が配色されている。緑はファーティマ朝、白は4代カリフ時代、黒はアッバース朝の各イスラム王朝を示し、赤はアラブの血縁を表している。黒の台形は、馬に乗ったクウェートの戦士があげる砂煙を表すともいわれている。
1 面積	17,818平方キロメートル(四国とほぼ同じ)
2 人口	428万人(内クウェート人131万人)(2016年 クウェート市民調査局)
3 首都	クウェート
4 言語	アラビア語
5 宗教	イスラム教
6 豆知識	国民の半数以上がアラブ諸国などからの労働移住者で占められる。国土の大半が砂漠という小国で、「石油に浮かぶ国」と呼ばれるほど原油産出が国家経済を支える一方、食糧自給率が低く、農地開発のため灌漑用水や農土を輸入している。